

I 教務関係の基本情報

1 授業の終始時刻

A日課：集会や整容指導等、朝の時間を活用する際の日課

B日課：通常時の日課

T日課：考查期間の日課

A日課	学習・SHR等	B日課	学習・SHR等	T日課	学習・SHR等
8:30～8:40	移動・朝学習	8:30～8:45	朝学習	8:30～8:45	朝学習
8:35～8:40	職員朝会	8:35～8:40	職員朝会	8:35～8:40	職員朝会
8:40～9:00	朝集会・MHR	8:45～8:55	S H R	8:45～8:55	S H R
9:10～10:00	1校時	9:00～9:50	1校時	9:10～10:00	1校時
10:10～11:00	2校時	10:00～10:50	2校時	10:15～11:05	2校時
11:10～12:00	3校時	11:00～11:50	3校時	11:20～12:10	3校時
12:10～13:00	4校時	12:00～12:50	4校時	12:10～	S H R・清掃
13:00～13:45	昼休み	12:50～13:35	昼休み	※考查後、壮行式等行事が入る場合があります。	
13:45～14:35	5校時	13:35～14:25	5校時		
14:45～15:35	6校時	14:35～15:25	6校時(水はHR)		
15:35～	S H R・清掃	15:25～	S H R・清掃		
整容指導・朝集会開催等		通常日課(毎週水曜6校時:HR)			

※MHR：ミドルホームルーム SHRより時間の長いHRです。

2 考查日程および主な学校行事

1 学期		2 学期		3 学期	
月/日	行事	月/日	行事	月/日	行事
4/5	始業式・新任式等	8/21	始業式等	1/15	始業式
4/6	入学式等	8/22～24	クラスマッチ	1/29～2/2	第五回定期考查(3年)
5/16	運動会	10/2～5	第三回定期考查	3/2	授賞式
5/18～23	第一回定期考查	10/13～15	大農祭	3/3	卒業式
6/8	早苗振・芸術鑑賞	11/7～10	修学旅行(2年)	3/5～12	第五回定期考查(1・2年)
7/4～7	第二回定期考查	12/7～12	第四回定期考查	3/20	終業式(1・2年)
7/21	終業式等	12/21	終業式	3/27	離任式(1・2年)
7/11～13	インターシップ(2年)				

3 考查における評価等について

(1) 観点別評価について

1学期末、2学期末及び学年末において、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」の4観点(国語は5観点)を授業の様子などから観察し、考查(ペーパーテスト)と共に定期考查後に点数化して評価します。

(2) 5段階評価について

5段階法	5	4	3	2	1
100点法	100～80	79～65	64～50	49～35	34～0

(3) 追考査について

各学期末考査において事情により考査を欠いた場合、その事情の証明として診断書または領収書等添付した「追考査願い」を提出してもらい、追考査を受験してもらいます。

その場合の評点は、次のようになります。

- ア 公認欠席（公欠）、忌引、出席停止（懲戒を除く）の場合は、得点の100%とする。
- イ 病気及び本人に関わる事故の場合、得点の80%とする。
- ウ 懲戒処分等の場合は、得点の60%とする。
- エ 正当な理由なく追考査を欠いた者は、考査の得点を評価しない。

(4) 通知表の発送について

考査終了後、2週間程度で通知表を発送します。ご確認の上、担任に返却をお願いします。

II 教務部としての取組

これからの時代を「生き抜く力」（確かな学力、豊かな心、健やかな体）を育むため、その達成に向けて教育課程の編成に取り組んでいます。

- 1 「授業の充実を図ること・わかる授業」を目標に授業改善と学力向上に組織的に取り組んでいます。

取組例①：授業のねらい（本時の目標）を授業の始めに板書します。

取組例②：職員間で互見授業を行い、授業力を高める研究をしています。

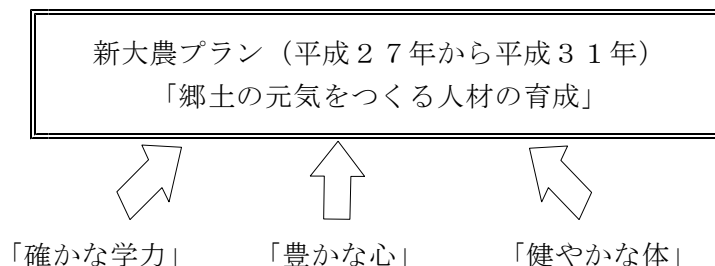
取組例③：学習の意欲を高めるため、少人数展開授業を行い、生徒の思考力や表現力を鍛える授業を行っています。

例えば・・・ 英語表現Ⅰ：農業科学科3クラス→6クラス
体育：種目選択制 2～3種目
植物バイオテクノロジー、微生物利用：クラスを分割し、実験しやすい人数へ

- 2 規範意識を醸成するために「心の教育」を取り入れ、授業規律を確認する。

取組例：3ない指導（寝せない・早く終わらない・諦めさせない）

- 3 新大農プラン、SPHに対応した教育課程の編成に取り組む。



平成28年度文部科学省「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）」指定となり、平成30年度までの3年間、地域創生を担う人材育成プログラムの研究を実践します。

III 終わりに

農業高校に入学したものの、夢や目標が見つからない男子高校生が目標も持った同級生に囲まれ、実習に悪戦苦闘しながら成長する姿を描いた『銀の匙』（実写映画もあり）というアニメがあります。農業高校には「見える学力」ではありませんが、将来にわたってプラスに働く思考力や判断力を伸ばす可能性があると思っています。また、命の尊さ、食の大切さなど、生きた学びができるのも魅力の一つです。特色ある本校の学習内容を、是非、お子様の感想を通じてご理解いただければと思います。